

×  
東京大学  
公開講座

第142回 2026年春季

# 都市と 建築

5/30<sup>±</sup>

12:50~16:25

テーマ

「人はなぜ都市に  
集まるのか」

6/13<sup>±</sup>

13:00~16:25

テーマ

「都市の価値は  
どのように  
生まれるのか」

6/27<sup>±</sup>

13:00~16:35

テーマ

「災害に強い  
都市とは」

会場：東京大学安田講堂〈文京区・本郷キャンパス〉

※安田講堂は、バリアフリー対応となっています。

**対象** 社会人・一般／大学生／高校生 **定員** 1,000名(各日)

**受講料** 各日3,000円 (事前申込が必要です)

※高校生以下は無料(各日先着200名まで)

※高校生以下として申し込まれる場合も、事前申込が必要です。

※文京区ふるさと納税返礼品「公開講座申込券」をお持ちの方も事前申込が必要です。

※各日の開場は12時を予定しています。

※オンライン配信は行いません(すべての講座ではありませんが、  
後日、東大TVにて視聴できますので、そちらをご視聴ください)。

※やむを得ない事情によりプログラムを変更する場合がございます。ご了承ください。



第142回 2026年春季  
東京大学公開講座

## 開講にあたって



第142回東京大学公開講座  
企画委員会 委員長  
**津本 浩平**  
(工学系研究科長)

中世ドイツに端を発する「都市の空気は自由にする(Stadtluft macht frei)」という法諺は、人類が多様な課題に直面する現代社会においても、都市が内包する特別な力、そして新しい時代の「自由」を象徴する言葉として、なお鮮やかな意味を放っています。

都市は、これまでも、そしてこれからも、社会活動の根幹を支える重要な「場」であり続けます。さらに、その「場」を「面」に例えるならば、そこで展開される「点」が建築です。点は線となり、線が重なり合うことで面が創られます。点と面は相互に深く関係し合い、社会というネットワーク、すなわち「空間」を創出します。そして、点・面・空間は、時代とともに協働的に進化していきます。このような文脈のもと、これからはレジリエンス、インクルーシブ、サステナビリティといった観点を軸に、次世代の都市が展開されていくことでしょう。

本公開講座では、都市と建築をめぐる過去・現在・未来を視野に入れ、多様な学問領域から最先端の知見を俯瞰しながら、これからの都市の在り方を考えます。サブテーマとして、「人はなぜ都市に集まるのか」、「都市の価値はどのように生まれるのか」、「災害に強い都市とは」を取り上げます。暮らし・価値・自然・防災といった身近な切り口からの議論は、私たちが生きる世界そのものの未来を構想する、より深い問いへとつながっていくでしょう。2027年に創立150周年を迎える東京大学が、「都市と建築」という話題を通じて、未来を創るためのコンパスを提示したいと思います。

# 5月30日(土)「人はなぜ都市に集まるのか」

12:50 ~ 12:55 東大150周年イベントについて 理事・副学長 津田 敦

12:55 ~ 13:00 開講の挨拶 企画委員長・工学系研究科長 津本 浩平

13  
..  
00  
{  
13  
..  
30  
  
13  
..  
35  
{  
14  
..  
05  
  
14  
..  
15  
{  
14  
..  
45  
  
14  
..  
50  
{  
15  
..  
20  
  
15  
..  
35  
{  
16  
..  
25

## 私たちはどう集まって住むかー建築計画学の挑戦 総合文化研究科・教授 横山 ゆりか

人類の多くが都市に住む現代では、どう集まって住むか、どのように住まいを集めて建てるかという課題は、建築や都市をつくる際に避けて通ることができません。路と住まいを結ぶこの課題に取り組んできた2つの学問分野、欧米の環境心理学、東京大学から始まった日本の建築計画学の研究を振り返りながら、現代日本の都市社会の行方を皆さまと考えたいと思います。



## 人の流れのゆらぎから考える都市の多様性とウェルビーイング 情報学環・准教授 澁谷 遊野

都市で生まれる人の流れのゆらぎに注目し、移動の多様性が都市体験や生活の質に与える影響をデータから読み解きます。ウェルビーイングにつながる都市環境のあり方を考えます。



## 建築を都市につなぐ居住環境のデザイン 工学系研究科・教授 大月 敏雄

住まいを中心とした居住環境を改変したり、使い方を工夫したりすることによって、人々がつながる可能性を重視したデザインの実践を共有しながら、個々の建築のデザインが都市のデザインにつながる可能性を考えます。



## 建物を使い続けることの価値 工学系研究科・教授 加藤 耕一

ここで考えたいのは、古くなった建物を我慢して使い続けることでも、文化財として保存することでもありません。適切な改修と先端技術によって機能や性能を向上させ、そこに新築では得られない歴史性・芸術性が加わることで、資産価値や不動産価値までも向上させる可能性を、建築史を振り返ることで考えたいと思います。



## 総括討議 情報学環・教授 山内 祐平

横山 ゆりか / 澁谷 遊野 / 大月 敏雄 / 加藤 耕一



# 6月13日(土)「都市の価値はどのように生まれるのか」

13  
..  
00  
{  
13  
..  
30  
  
13  
..  
35  
{  
14  
..  
05  
  
14  
..  
15  
{  
14  
..  
45  
  
14  
..  
50  
{  
15  
..  
20  
  
15  
..  
35  
{  
16  
..  
25

## 都市居住の社会学:住むことをめぐる重層的な交渉 人文社会系研究科・教授 祐成 保志

住まいは都市生活を支える希少な資源であり、その生産と配分は社会的な争点となります。同時に、人びとの住むという営みが建築に意味を与え、都市という場を作り出します。本講義では、ハウジング・レジームの概念を手がかりに、都市居住の可能性とその条件について考えます。



## ライフサイクル思考の建築設計 新領域創成科学研究科・教授 清家 剛

建築物は規模が大きく、建設時の環境負荷も大きくなりますが、寿命が数十年以上と長く、トータルでは使用時の環境負荷が最も大きくなります。こうした建設から解体までの環境負荷をバランスよく考慮する「ライフサイクル思考の建築設計」について、紹介したいと思います。



## 自然で拓く都市の未来 工学系研究科・准教授 高取 千佳

本講義では、Nature-based Solutions (NbS) を軸に、気候変動適応、防災、生物多様性の保全、社会的包摂を同時に実現する都市・地域づくりの考え方を紹介します。都市の緑地や水辺、農地などの自然が持つ多様な機能に着目し、国内外の研究事例や実証プロジェクトを通じて、科学的根拠に基づくグリーンインフラの可能性を解説します。自然と共生するこれからの都市の姿を、参加者の皆さまと共に考えます。



## 東京24区 情報学環・教授 越塚 登

本講座では、サイバースペースを公共空間とする仮想都市「東京24区」のビジョンを提案します。デジタル技術やAIを活用し、便利さと心の豊かさが共存し、場所の制約に縛られない東京の未来像を提示します。



## 総括討議 総合文化研究科・准教授 三浦 あゆみ

祐成 保志 / 清家 剛 / 高取 千佳 / 越塚 登



# 6月27日(土)「災害に強い都市とは」

13  
00  
13  
40  
13  
50  
14  
30  
14  
40  
15  
20  
15  
35  
16  
25

## 衛生学から発展した建築環境工学

新領域創成科学研究科・准教授

小崎美希

建築環境工学は快適に室内環境を整えることを目標に、光、音、熱、空気、水など建築設備と合わせて研究する分野です。もともとは衛生学から発展し、建築衛生、建築計画原論、建築環境工学と呼び方を変化させながら発展してきました。これらの研究の発展に伴いどのように建物の形や都市の形が変化していったのかをご紹介します、今後について一緒に考えたいと思います。



## 建築物の耐震規定の歴史と最新の被害把握技術

地震研究所・教授

楠 浩一

近代日本では1919年に市街地建築物法が制定されて以来、耐震規定を整備するとともに、これまでの地震災害からの教訓により改正してきました。本講義では、我が国の耐震規定の歴史を振り返るとともに、今後起こりうる巨大地震に備えて、建物の被災程度をセンサーにより自動判断する最新の技術について紹介します。



## なぜ災害対応には「型」が必要なのか — VUCA時代のレジリエンスを考える —

生産技術研究所・准教授

沼田 宗純

気候変動下のVUCA時代における災害対策のあり方をテーマに、47種類の災害対策の「型」と災害対策トレーニングセンター(DMTC)・災害対策エグゼクティブプログラム(DSEP)などの教育実践を紹介しながら、リスクとレジリエンスの本質について考えます。



## 総括討議

医学系研究科・教授

山本 則子

小崎 美希 / 楠 浩一 / 沼田 宗純



16:25 ~ 16:35 閉講の挨拶 理事・副学長 津田 敦

### 【会場へのアクセス】

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 / 都営大江戸線 本郷三丁目駅 /  
東京メトロ千代田線 湯島駅・根津駅 / 東京メトロ南北線 東大前駅



# 受講申込方法

東京大学公開講座のwebサイトに「受講規約」等を掲載しておりますので、ご確認ください。

【受付期間】4月2日(木) 13時～ 各講義日16時

【定員】各日:1,000名

【受講料】各日:3,000円(税込)

入金後の受講料につきましては、お客様のご都合による返金はいたしかねますのでご注意ください。

【申込方法】インターネットからのお申し込みとなります。

東京大学公開講座のWebサイトにアクセスし、所定の手順に従ってお申し込みください。

高校生以下の方も事前申込が必要です(各日先着200名まで)。必ず下記サイトの【高校生以下(受講料無料)の方】申込フォームよりお申し込みください。

文京区ふるさと納税返礼品「公開講座申込券」をお持ちの方も、事前申込が必要です。必ず下記サイトからお申し込みください。

<https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/publiclectures>

(東京大学ホームページ → 社会連携 → 一般見学・公開講座案内 → 東京大学公開講座)

【支払方法】クレジットカード決済、コンビニ決済のどちらかを選択いただけます。

クレジットカード決済のお支払い回数は、1回払いのみとなります。

1 東京大学公開講座のWebサイトにアクセスし、「概要・申込方法」のページ内にある「【一般の方】申込フォーム」より必要事項を入力の上、『クレジットカード決済』か、『コンビニ決済』のどちらかを選択します。

▼

2

## クレジットカード決済

お申込内容をご確認のうえ、  
カード情報をご入力ください。

## コンビニ決済

お申込内容をご確認のうえ、  
お支払するコンビニを選択してください。

▼

3

決済が完了しましたら、  
クレジットカード決済完了メールが届きます。

申込完了メールが届きます。Web画面上で表示されたお支払い情報を印刷、もしくはメモしてください。「お支払い方法はこちらへ」をご確認いただき、選択しましたコンビニのレジにてお支払いください。

▼

4

講座当日は、前日までにメールでお送りする受講証を、会場での受付時にご提示ください。

※決済完了メール、支払い完了を証明するもの、身分証明ができるものをご提示いただく場合がございます。

身分証の例(運転免許証、運転経歴証明書、住民基本台帳カード、社員証、学生証、保険証、マイナンバーカード、住民票、クレジットカード・キャッシュカード(氏名表記のあるもの)、公的料金証明書(支払い名義が本人のもの)など)

※注意:システムのメンテナンスを実施している期間には、お申しいただけません。

# 案内・注意事項

本講座の撮影・録音・録画および資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。

講演内容の盗用が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただきます。

講堂内でのお手荷物の紛失、盗難等について、主催者は一切責任を負いかねますので、受講者ご自身で管理をお願いいたします。

講堂内での飲食はできません。また、会場内にゴミ箱はありませんのでゴミはお持ち帰りください。

やむを得ない事情によりプログラムを変更する場合がございます。ご了承ください。

安田講堂は、バリアフリー対応となっています。

障害等のため配慮が必要な場合は、受講日の3週間前までにお問合せ、ご連絡ください。

小学生以下の方が受講される場合は、保護者の方も一緒にご受講ください。

なお、保護者の方は【一般の方】申込フォームよりお申し込みください。

# 修了証書



2日以上受講された方には、ご希望により修了証書を交付します。

修了証書を希望される方は、お申込画面で「修了証書を希望する」にチェックのうえ、

修了証書送付先の住所をご入力ください。

発送は7月中旬以降になります。

※受講料が無料の方には修了証書は発行しません。

## よくあるご質問

### Q「 難易度はどのくらいですか? 」

講義内容の多くは初心者でも分かるものですが、一部専門知識を有する方向けの内容も含まれます。公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。

### Q「 事前に申込をしていますが、受講できますか? 」

事前のお申込が必要です(講座当日の申込可)東京大学公開講座のWebサイトからお申し込みください。

### Q「 休講する場合がありますか? 」

台風などの荒天や交通機関のストライキ、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの流行などにより、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、前日の午後5時までに、本学Webサイトに掲載いたします。Webサイトをご覧いただけない場合は、お手数ですがお電話でお問い合わせください。また、講師の急病・事故等により、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、決定次第本学Webサイトに掲載いたします。なお、上記の事由により休講となった場合は、可能な限り振替講座を行います。事情により開催できないこともあります。いずれの場合も、交通費・宿泊費等は補償できません。

### Q「 講座の内容を録音・録画・撮影することはできますか? 」

講座の録音・録画・撮影等は、固くお断りいたします。

### Q「 オンライン配信はされますか? 」

オンライン配信は実施いたしません。なお、すべての講座ではありませんが、後日、東大TV(<https://tv.he.u-tokyo.ac.jp/>)でご視聴できます。

### Q「 Webサイトでの申込が難しいのですが、Webサイト以外で申し込むことはできますか? 」

申し訳ございませんが、本講座ではWebサイトでの申込としております。他の方法でのお申込はできません。

### Q「 身分証として使えるものは何がありますか? 」

受講申込方法をご覧ください。リストに記載のないものでも受講されるご本人の氏名が分かるものであれば、身分証として有効です。不明な場合は、お問い合わせください。

### Q「 友人や家族の分を申し込むことはできますか? 」

代理申込はご遠慮ください。トラブルの原因になりますので、原則、受講されるご本人がお申し込みください。

## お問合せ

東京大学本部社会連携推進課

メール [ext-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:ext-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

TEL 03-5841-1610 受付時間: 平日9:00~12:00/13:00~17:00

東京大学では在宅勤務を実施しております。

ご不明点がありましたら、メールにてお問合せください。